

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

サルのむれは、ボスザルがひきいているといわれています。ボスザル以外のサルたちにも、それぞれ順位があり、食べ物をとる順番まで決まっているといわれています。

でも、伊沢さんは①この考え方はまちがっているといえます。動物園のサル山など、ある決まったエリアに集団でくらしっていて、人間にエサをもらっている場合には、むれにボスが生まれ、順位ができます。一定の面積の中で、一定の量の食べ物をわけあうなかで競争関係が生まれ、強い者から順位が決まっています。

ところが野生のサルの場合、ボスはいないと伊沢さんはいいます。ほうふな食料があるジャングルでは、むれの中で取り合いをしなくても食べられます。競争する必要がないので、むれに順位はできないわけです。

ほかのサルたちとは、すみわけること競争をいしようにしています。

こう水ではかいされたジャングルに新しい木々がはえはじめます。③ここにはリスザルやティザルが、果実やこん虫を食べながら生活しています。

\*きゆうりょうなど、地面が高くても水の水のえいきょうをあまりうけないところには、木々の高さが五〇メートルにもなる安定したジャングルがソダちます。このジャングルの上層部には、新世界ザルの中では大型のウーリーモンキーやクモザルが、果実を食料に生活しています。

フサオマキザル、ホエザル、ヨザルはどちらの森にもいますが、食べ物や生活時間によってすみわけています。フサオマキザルは果実やこん虫や木の实を食べ、ホエザルは木の葉を食べています。ヨザルはフサオマキザルと同じように果実やこん虫を食べていますが、夜行性で昼間は木のほらの中のでねているので、両者がジャングルでくわすことはありません。

このように、かんきょうや習性によって、アマゾンの野生のサルたちはゆうゆうと生きているのです。

\*かいしょう今までのことを取りやめること。  
 \*きゆうりょう少し高くなっているところ。おか。  
 \*新世界ザル南アメリカにすむサルの仲間。  
 \*夜行性夜中に活動する性質。  
 \*習性動物に生まれつきそなわっている生活や行動のしかた。

サルのむれには順位があるってほんとうかな。

今回の問題文

問一 ①、なぜ伊沢さんは「この考え方はまちがっている」と言っているのですか。その理由を説明した次の文の（A）・（B）にあてはまる言葉を文中からそれぞれ書きぬきなさい（Aは六字・Bは四字）。

（A）があるジャングルでは、むれの中で（B）をしなくても食べられるので、野生のサルのむれには順位ができないから。

B


A


問二 ②、野生のサルは、ほかのサルたちどのようなにすみわけるのであるか。その説明としてあわなものを次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア ちがうジャングルで生活する。  
 イ ちがうボスのもので生活する。  
 ウ ちがう食べ物を食べる。  
 エ ちがう時間に生活する。

問三 ③、「ここ」が指している内容を文中の言葉を用いてくわしく書きなさい。

問四 果実やこん虫を食べ、夜に活動するサルの名前を文中から書きぬきなさい。

問五 (ア)・(イ)のカタカナを漢字に直しなさい。

(ア) (イ)